

米政権「外交」後回し

オバマ大統領一般教書演説

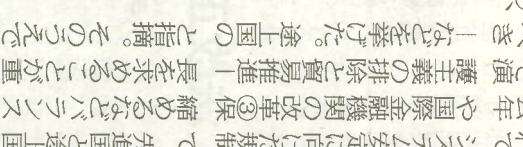
「バント」里子丸幸子「オバマ大統領の27日一般教書演説は、経済に比して外交政策への言及が乏しく、内向きの印象を否めなかった。中間選挙を控えるなか、雇用情勢の悪化を憂えて大統領の支持率平しており、外交の重要性が下がり始めたようにもみられた。対ロ対核軍縮に関する発言は従来方針の繰り返しにとどまり、核開発に意欲を込めるイランや北朝鮮への批判も新味に欠ける内容だった。

「3分の2は経済で策を得点源とみなさなかっただろう。演説に先立ちホープトハクス高官はこう語り、オバマ政権は「オバマ大統領の27日一般教書演説は、安全保障分野への言及は全体の2割以下、就任直後から約15%低下した支持率の回復に照準を定め、オバマ政権は、外交の終結と戦前部隊の帰還

言及、全体の2割以下

新興国「ダボス」でも存在感

「G20が取り組むべき一歩を挙げた。途上国の強強・副首相は「世界経済の風骨は変わり、途上国の声もより大きな必要があり」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。



28日、ダボス会議で演説するAPEC副首相。左から韓国大統領、中国副首相、オバマ大統領。

「G20が取り組むべき一歩を挙げた。途上国の強強・副首相は「世界経済の風骨は変わり、途上国の声もより大きな必要があり」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。

「G20が取り組むべき一歩を挙げた。途上国の強強・副首相は「世界経済の風骨は変わり、途上国の声もより大きな必要があり」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。

「国際協調 G20最適」食料安保で協力強調

安全保障などで協力を深める必要がある」と強調した。一方G20の一角である南アフリカ共和国のズマ大統領も今年開催するサッカースポーツ（アフリカ）に対して「従来のアフリカ見方を世界が改める機会に」と指摘した。韓国は過去数年は「アジアのリーダー」を目指し、G20議長国を務める。同国はG8首脳会議の議長国も同時に務めるが、27日夜にダボス会議に登場したサルジ大統領もG8について「大事な役割を重畳する」と訴えた。市場開放や貿易交渉、食料、エネルギー、食料、環境保護など、G20の基本的役割やG20の役割を重畳する。

韓国大統領 中国副首相

中国副首相

「G20が取り組むべき一歩を挙げた。途上国の強強・副首相は「世界経済の風骨は変わり、途上国の声もより大きな必要があり」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。オバマ大統領は「世界経済の存在が高まっている」と述べた。」

ハイチ復興へ投資呼び掛け

ハイチ無期延期

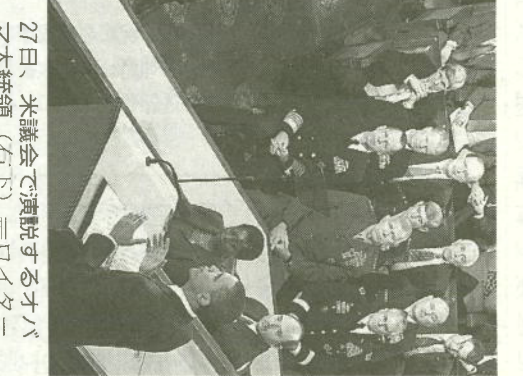
来月の議会選挙

「ハイチ復興へ投資呼び掛け」の演説は、ハイチが今年12月に開く議会選挙に向けて、ハイチ復興への投資を呼び掛けている。また、ハイチの選挙が延期されたことに関しても、ハイチ政府は「選挙の延期はハイチの復興と安全のために必要である」と述べた。また、ハイチの選挙が延期されたことに関しても、ハイチ政府は「選挙の延期はハイチの復興と安全のために必要である」と述べた。

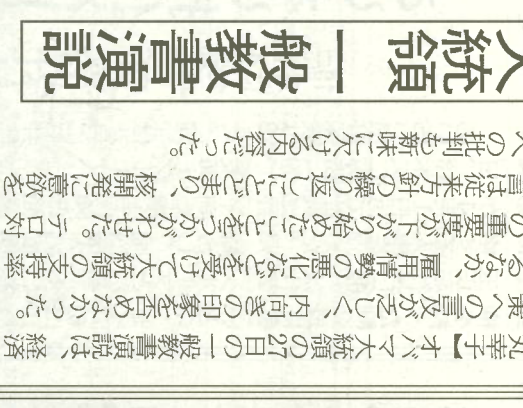
ハイチ無期延期

来月の議会選挙

「ハイチ復興へ投資呼び掛け」の演説は、ハイチが今年12月に開く議会選挙に向けて、ハイチ復興への投資を呼び掛けている。また、ハイチの選挙が延期されたことに関しても、ハイチ政府は「選挙の延期はハイチの復興と安全のために必要である」と述べた。また、ハイチの選挙が延期されたことに関しても、ハイチ政府は「選挙の延期はハイチの復興と安全のために必要である」と述べた。



27日、米議会で演説するオバマ大統領（右下）＝ロイター



「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

オバマ米大統領の支持率

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

オバマ米大統領の支持率

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

オバマ米大統領の支持率

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

オバマ米大統領の支持率

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

オバマ米大統領の支持率

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

米、国防戦略見直し

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」

「オバマ米大統領の支持率は、大統領就任後、概ね70%前後を維持していたが、4月の演説以降、支持率が75%まで上昇した。しかし、10月のノーベル平和賞受賞後、支持率は65%まで下落し、11月の日本などアジア諸国への米軍増派発表後、支持率は45%まで急激に低下した。」